

テーマ1：南部圏域の強みを活かした観光振興について

意見

- 魅力度UP戦略4にある「南部圏域の強みを活かした観光誘客の加速」として、DMOと連携し南部ならではの資源（自然、サーフィン等）を活かした体験型コンテンツのPRを大阪・関西万博をはじめ、国内外に向けて取り組む。
- 海、山、川と自然豊かな恵みを利用した体験型修学旅行や民泊をしていますが、受け入れ側の高齢化により不安があります。もう一度掘り起こしを行う必要あり
- 外国の方にも観光、体験、民泊を組み合わせた誘致を考え、素の味を知ってもらう必要あり
- ソーシャルリスニング、SNSのリサーチを通じて、観光市場においてのリアルな現状や新しい時代の潜在的ニーズ分析を行い、地域の強みと掛け合わせた独自の商品企画が必要
- 観光振興を行う組織やチームづくりが必要
- 南部圏域の強みを活かす観光として、山、海、食などを総合的にデザインしていく仕組みの構築はできないか。今の形式は各エリアや分野の意見の吸い上げや改善はできる組織とは思いますが、大きな枠組みでのデザインが課題ではないかと感じる。
- 南部地域の強みは、雄大な自然環境とそこに根差す地域の文化だと思います。ぜひ南部圏域の雄大な自然環境で来訪者を受け入れられるよう、施策を展開してほしい。例えば大里松原海岸のすばらしい松林も、大浜海岸のウミガメの浜も、伊島のササユリもどれも人の手によって維持されているが、こうした保全活動を担う地域住民やNPOは高齢化や資金難で困っている。観光振興によって保全活動が活性化できるよう期待したい。
- 体験型・マリンスポーツ・地域の自然が満喫できるスポット
- 海の幸も強みとなる
- 都会で徳島に触れることが出来るアンテナショップや徳島フェアでの地道なアピールショップ定員の対応も大変重要（徳島県とのファーストコンタクト）
- 「四国の右下」から名称が変わりましたが、なぜ変えなければならないのか。
- 夢ホールを丸ごと楽しむ1日として開催している「おんがくの日」では、県外からの来客があることから、阿南を知ってもらえるよう「ブラあなん」というタイトルで、夢ホール周辺の案内、阿南の民話、言い伝えに基づいた動画を配信している。
(インスタ yumehallciviccounci_pr)
- 来月に冒険家の風間深志さんがイベントプロデューサーを務めるイベント「日本ライダーズフォーラム」が開催され、40名が9月19日に山中湖を出発、ファガスの森高城で宿泊し20日早朝に佐田岬を目指す。また、2010年から継続している地下足袋王子杯トレイルランニングや2005年から毎週日曜日に計画し継続している山の遠足と題しての山登りがある。南部が一丸となって観光振興に取り入れてはどうか。
- 県南の自然→「那賀川」を活かした体験ツアーの再考（「SUP」「カヌー」等を川の上流・中流で実施等）
- 県南の桜名所めぐりツアーの再考（88カ所めぐりの参拝をもりこむ。ガイド付きのウォーキングツアーを地元住民と連携して実施等）
- 豊かな自然や伝統的な祭りがたくさんあるので、それを活かすことはもちろんやるべきだと思うが、「不便さ」や「課題」を強みに変える戦略はどうか。

テーマ2:移住の促進(空き家対策)について

意見

- 担い手の育成と確保
農林水産業等における移住システムの充実及び計画的に取り組む。現状と支援についてDX+GXの推進と共に加速させる。戦略6の新しい流れへつなげてみたい。
- 移住見本市等で現地に足を運んでもらって体験してもらう。
- 新しく住居を建てる
期限付きの体験住宅では家も見つからず移住には繋がりにくいので、公営住宅的な住居を整備・活用することで「まず住める」環境をつくっていくことが必要
- 消滅集落の再利用
都会の暮らしを求めない需要も一定数あるので、消滅集落にある土地の登記など市町が入って整理して使えるようにしてもらえると、いくらでも活用できる
- 南部圏域が得意とする分野のリーダーが空き家や移住の促進を進められる定期的な意見交換会を設けてはどうか。
- 各市町の空き家対策を促す
- 空き家の持主に相続税について、空き家の活用について周知
- 維持だけでもコストがかかるので、譲ってでも活用していただくほうがコスト削減につながる事を理解していただく
- 地域の空き家コーディネーターと協力
- 空き家を住めるように改修してから売り物件、賃貸物件として扱うことはできないか
- 移住の促進について移住フォーラムでのファーストコンタクトの重要性
- 阿南市にお試し移住のための住宅がないし、協力隊目的以外での移住希望者への第一ステップ(家)がないのは不安要素
- 移住にしても借りられる家の登記は出来ているか
- 空き家のある地域住民と市や町の窓口が蜜な連携がとれる仕組みの再考等
- 移住者どうしの交流を促進してくれる機会が少ないように思います。移住者と市町の関わりが移住後もあることで、より良い印象になり今後の移住促進にもつながるのでは。
- これまでも移住されてこられた方は、様々なスキルをお持ちかと思います。「自然」や「スローライフ」「田舎暮らし」を売りにするのもいいのですが「あなたが主役になれる」とか「まちづくりと一緒に」など移住されたてくる方が夢を実現できたり、まちの活性化に寄与するようなテーマで呼び込むのもいいのでは。
- 海外の方に対する支援を強化してもいいのでは、お遍路をはじめ、徳島県南に観光に来られる海外の方、既に、働きにきている海外の方も多くいるかと思います。そういった方に向けてのアプローチや強化するというのはどうか。

テーマ3：南部圏域の振興に関するその他の意見について

意見

- 危機管理体制の充実・強化
令和6年1月1日の能登半島地震を教訓に踏まえた避難所機能強化、特に環境面（冷暖房）の導入推進の現状と計画について問いたい。
- 南部圏域における防災士ネットワークづくりについて
- 遊休田が多い南部地域の第一次産業のてこ入れが必要。
- レプリコンワクチン問題等について
- 人口減少による将来の想定を委員のみなさまと意見、共有できればいいなと感じております。
- 備蓄食品について、町内会の補助により毎年全体の1/5を更新し、最低3日分の非常食を保管している。
- トイレ環境の悪化が避難所運営で最大の課題と認識。戎町では各家庭に1個の簡易トイレの貸出しを予定。ほか、町内会以外の分も相当数用意。併せてパーソナルテントも用意している。
- 戎町にある津波避難タワーの風雨対策が不十分で課題となっている。ビニールカーテンに替え雨戸の設置、ビニール素材による階段室を水密性の素材にするよう町に要望しているが、県に対しても改善をお願いしたい。
- 皆伐をしなくてはならない人もいます。以前と環境が変わってきている今日、森林のもつ機能が充分発揮出来る施策をお伺いしたい。
- コンサートへの来場者のアンケートに、「徳島市在住ですが阿南市はとても住みやすそうな市だと思います。発展的でこれからもどんどん阿南市での催しが増えることを期待しています」というコメントがありました。公立文化施設の責務として、多様なコンセプトの催しを作ってきた。今後は特に、小中高生を学校、学年単位でホールコンサートに招待する「インリーチ事業」を通して、子どもたちの文化体験の充実を図り、豊かなまちづくりの一助としたい。
- 樹木が垂れ下がってきて大型車両が屋根を擦るためにセンターラインをはみだしてくることがある、非常に危険です。早期に伐採処理を要望いたします。193号線、拝宮橋前後です。
- 県南の「みちの駅」の再考、「川の駅」などはないか
- 道路について、高速道路の早期開通、主要幹線道路の充実
- 子育てや学習支援に関して
子育てや、若者の居場所支援、海外にルーツがある方などの支援、行政ごとに実施されている状況、徳島県内に限ってみても格差があるように感じる。
広域でのこの会議体など、広域な面で考えるべきではないだろうか。